

令和5年度第5回指定管理者審査委員会 議事録（要旨）

日 時 令和5年10月24日（火） 午前9時30分～午前11時10分  
 場 所 日進市立図書館2階 大会議室  
 出席委員 亀倉正彦、平家勉、上田信子、黒田雅也（敬称略）  
 欠席委員 村上康司（敬称略）  
 事務局 萩野一志（総合政策部長）、岩瀬雅哉（同部調整監）、小出誠二（同部次長兼企画政策課長）、白木誠（同課課長補佐）、山浦勝義（同課企画経営係長）、水谷大介（同課同係主査）  
 説明の為に 杉田武史（生活安全部長）、大鐘徹也（市民協働課長）、小濱美紀（同課主幹）、  
 出席した者 西澤寿一（同課市民協働係長）  
 傍聴の可否 不可（日進市情報公開条例第7条第3号に該当する事項を審議するため。）  
 議 題 （1）日進市にぎわい交流館の指定管理者の候補者の審査（第2次審査）について

発 言 者	内 容
事務局	1 開会
	2 あいさつ
事務局	それでは、進行を委員長にお願いします。
委員長	会議の非公開の可否について諮る。
委員	（異議なし）
	3 議題 日進市にぎわい交流館の指定管理者の候補者の審査（第2次審査）について
コニックス株式会社	（事業提案書に基づきプレゼンテーション及び質疑応答）
	（主な質疑応答） 質問：市民活動団体の拠点としての役割はどの程度進んだか。 回答：市民活動団体が普段から利用できる施設として設備や会議室などを備え、拠点的な役割を務めてきた。これからの5年では、高齢化が進む各団体を新しい世代へつなげていけるように関わっていきたい。 質問：今の市民活動団体数は。 回答：登録中を含め、301 団体ある。 質問：あらゆる立場の人が集まって課題を解決していく仕組みについてはどうか。 回答：新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、団体間の関係が薄まった部分がある。つながりが強まるような役割を担っていきたい。 質問：スタッフの配置はどのようか。 回答：現在、日中のスタッフは8時半から夕方5時半まで勤務し、夜間スタッフは夕方から夜10時まで勤務している。関係業務量が増えており、今回は日中勤務者について週3日間くらいを4名体制で勤務する配置を提案した。 質問：令和4年度を基準に利用料金収入を見込んだ根拠は。

発 言 者	内 容
	<p>回答：新型コロナウイルス感染症のまん延時にランチが提供できず、調理室の利用料金収入が減少し、その影響を考慮して収支計画を考えた。</p> <p>質問：自主事業収入は講座実施によるものか。</p> <p>回答：ペットボトル飲料の販売収入が中心である。</p> <p>質問：自主事業での講座の内容や回数はどのようなか。</p> <p>回答：チラシやポスターを作る講座を有料で年2回ほどやりたいと考えている。新型コロナウイルス感染症による稼働率低下がいつ完全に戻るか読めない部分があり、指定管理料は上限額で提案させていただいた。</p> <p>質問：利用が多い世代は。</p> <p>回答：70代前半が多い。</p> <p>質問：子ども食堂での利用など、利用年齢が低くなる要素もあるが。</p> <p>回答：子ども食堂は新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえ、現在は30家族限定としており、全体の利用年齢低下にはつながらない。</p> <p>質問：市民活動団体と若者を結びつける課題は。</p> <p>回答：双方の活動時間が合わないことが課題かと認識している。</p> <p>質問：障害者差別解消法への具体的な対応はどのようなか。</p> <p>回答：従業員に国のパンフレットを使って研修している。エレベーターやスロープ設置といった施設改修は自治体に提案させていただく。知識や技術を持たずに車いすを使われる方へ補助や介助することにはリスクが潜んでいると思っている。望ましい対応を会社から従業員に話していきたい。</p> <p>質問：アウトリーチ訪問の実施には人手がいる。どう見込んでいるか。</p> <p>回答：人数的に実施が難しいときは、イベントに顔を出して話を聞くなど、出向かななくても同じ効果が得られるよう取り組んでいきたい。</p> <p>質問：市民活動団体の世代交代や活性化に向けた考えはあるか。</p> <p>回答：にぎわい交流館が拠り所として利活用され、実際に行動する若い人が増えていくよう、大学や関係者に声掛けしたい。その他、インターンシップ先として大学生に携わってもらい、身近に感じてもらうきっかけとしていきたい。</p> <p>質問：日進市が抱える課題に関わっていくことはあるか。</p> <p>回答：犬山市のフューチャーセッションなど、他市町の先進事例を参考に、若い人たちによる面白いまちづくりを考えていきたい。</p> <p>質問：先般、実施したグルメラリーの効果は。</p> <p>回答：コロナが落ち着き始め、ワンデイシェフの復活を広めることも考えて企画した。市内事業所とつながりができ、やってよかったと考えている。</p>
4	答申
	(閉会 午前11時10分)